

# 第8回ものづくり日本大賞 募集開始!!

## ものづくり日本大賞とは?

日本の産業・文化の発展を支えてきた「ものづくり」を継承・発展させるため、ものづくりの第一線で活躍する方々のうち、特に優秀と認められる方々(個人、グループ等)を顕彰する制度です。平成17年の制度創設後、隔年で開催しており、今回で第8回を迎えます。

## 募集部門及び表彰の種類

経済産業省では、「産業・社会を支えるものづくり分野」及び「ものづくりの将来を担う高度な技術・技能分野」のうち「人材育成部門」について、受賞候補者の募集を行います。

募集部門は①製造・生産プロセス部門、②製品・技術開発部門、③伝統技術の応用部門、④「Connected Industries -優れた連携」部門(いずれも受賞対象者は個人またはグループ)及び⑤人材育成支援部門(受賞対象者は企業、NPO等)です。

応募いただいた中から審査・選考の上、全国では内閣総理大臣賞、経済産業大臣賞等が、当局では、中国経済産業局長賞が授与されます。

## 応募期間

平成30年11月16日(金)  
～平成31年 1月25日(金)

## 応募方法

<http://www.monodzukuri.meti.go.jp/>

上記の第8回ものづくり日本大賞応募専用ホームページから所定の応募用紙がダウンロードできます。

なお、ご応募にあたっては、推薦者が必要ですが、企業内での推薦も可能です。詳細は上記HPをご覧ください。

## お問合せ先

中国経済産業局 地域経済部 地域経済課  
TEL:082-224-5684

## 受賞効果

### 第7回受賞者の声

#### 社会的信頼が向上

政府から表彰されたことは取引先の信用という点で大きなプラス材料になったと聞いている。

#### パブリシティ効果大

テレビや新聞などマスコミからの取材申込が増えている。

#### 若手職人の雇用にも

伝統技術が評価され、職人たちのモチベーションがあがった。また、認知度が高まったことにより、若手の雇用につながっている。

#### 協力工場まで士気向上

社員の自信や責任感の向上につながり、大いに士気が高まった。